

農場だより

第6号

平成23年3月25日



暑さ寒さも彼岸までとありますが、今年はまだ雪がちらつく寒い日が続いています。田んぼの土手には、「つくし」が伸び始め「おいぬのふぐり」がきれいに咲いています。



3月の農場作業レポート

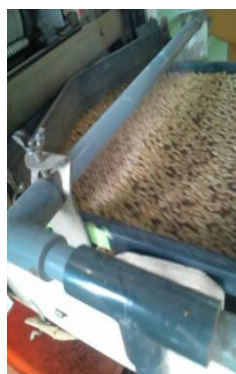
農場の今年の米作りが本格的にスタートしました。田植えの始まるのは4月下旬からですが、稲の苗作り・苗を育てるハウス管理・田んぼの耕運など作業はたくさんあります。今回は、3月23日に行った播種（種まき）の様子をお伝えします。

- 2月 農場に種もみが届きました。
この種もみは、去年の稲の穂からとった実で、塩水に入れ（塩水選）沈んだ実の詰まった重い良いもみを選んであります。
- 2月下旬 種もみを温湯消毒します。今現在農場では、この作業を農協さんをお願いしています。文字通り温かいお湯に入れて消毒乾燥し、稲を病気や害虫から守ります。
- 3月7日～種もみを浸種します。
種もみを水に浸け、芽が出やすいようにします。浸種後は、脱水します。

いよいよ、播種（種まき）です！！



これが、越路早生の種もみです。
少～し、白い芽が出始めているのが分かりますか？
そして、下の写真のように種まきは播種機を使って、ひとつひとつ苗箱にまいていきます。



- ① 床土（とこつち）を敷く。
- ②種まき
- ③水かけ
- ④土かけ
- ⑤消毒液をかける。

ひとつの木のパレットに
120枚重ね、加温します。



この日は、1,200枚播種しました。

約2日間30℃近い中で、芽が出るのを待ちます。さて、どんな芽がでるでしょうか。その後は、ビニールハウスに移し苗を生育させます。(3月26日にハウスへ移動予定です。)

次回の農場だよりでは、苗の生育状況、田植え準備の田んぼの様子などをお伝えします。

農場からのお知らせ

〇4月から、新年度。挨拶まわりなどのお遣物に、お米2・3合パックはいかがでしょう？おいくつからでも、承ります。ぜひ、ご利用ください。

例) 特別栽培コシヒカリ 2合・・・180円
// 3合・・・270円

ご注文・お問い合わせは、[TEL:0120-24-2557](tel:0120-24-2557)まで。



4月「農場応援隊」お手伝い作業予定

3/30日・4/6日	水曜	播種：米の種まき作業 ※午前+午後も募集
4/2・9日	土曜	育苗：お米の苗箱並べ(ビニールハウス) ※午前のみ

※作業内容は、変更になる場合もあります。申し込み時に確認ください。

米子の気になるレシピ

「いちごスムージー」

いま、「いちご」がシーズンですがみなさんはお好きですか？
柏崎でも、いちご『越後姫』を栽培している農家さんが増えてきています。
『越後姫』は、「ブルージュ×女峰」と「とよのか」から誕生し、新潟で育成されて1996年(平成8)に品種登録されました。香りがよく、ほどよい酸味と強い甘味が特徴だそうです。ぜひスーパーなどでみかけたら、試してみてください。

冷凍させたいちごを、そのまま牛乳といっしょにミキサーに入れるだけで簡単に「いちごスムージー」が出来上がります。

これから、暖かい日にはこんな冷たいドリンクもいいですね！

※冷凍期間に注意してください。2~3カ月が目安です。
なるべく空気を抜いて、ジッパー付きの袋で保存して、
冷凍焼けしないようにしてくださいね。

